

平成30年4月26日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム	
代表者	代表取締役社長	内藤 裕紀
(コード番号)	3793)	
問合せ先責任者	取締役	後藤 英紀
(TEL)	03 - 6682 - 5700)	

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期において特別損失を計上するとともに、平成30年1月30日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が開発・運営し平成29年12月にリリースされた新作タイトルでは、リリース直後から通信障害や頻繁な改修が発生し、ユーザーの皆様や共同事業者に対し多大なご不安やご迷惑をお掛けいたしました。これに関連し、当社は112百万円を支払うことで共同事業者と合意し、平成30年3月期において、当該費用を特別損失として計上することといたしました。今後は、再発の防止、当社に対する信頼の回復、および引き続きの安定運用を通じた当該タイトルの拡大に努めてまいります。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益 (※)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,400	500	140	△120	△4.24
今回修正予想 (B)	13,200	180	△30	△210	△7.43
増減額 (B-A)	△200	△320	△170	△90	
増減率 (%)	△1.5	△64.0	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	8,388	932	844	814	14.86

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しているため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前期の1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 修正の理由

第4四半期会計期間（平成30年1月1日～平成30年3月31日）におきましては、既存タイトルの売上拡大と収益性向上の双方に傾注し、IP戦略の前進に取り組んでまいりました。そうした中、収益性向上を一層本格化させるべく、足下の運用状況及び将来収益力をもとに各タイトルの関連資産を精査した結果、複数のタイトルで今期中に資産を費用処理することが望ましいと判断し、売上原価として費用化いたしました。この結果を受け、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回予想を下回る見通しとなりました。

平成31年3月期につきましては、新たにスタートした新ブラウザゲーム事業の順調な立ち上がりと拡大に注力するとともに、既存タイトルの伸長と収益性の向上にも一層努力し、当社のステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう努めてまいります。

以上